通信ともに
第76号
2019年10月28日発行
認定NPO法人ともに
住所　〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北３条西２丁目１－１
でんわ　（0136）55−5828
ＦＡＸ　（0136）55−5829
Ｅメール　info@npo-tomoni.com
ホームページ　http://www.npo-tomoni.com　　ブログ　http://blog.canpan.info/npotomoni/

今月の一枚

じゃんけん優勝賞品ににっこり
～第４回わっくわくまつり

講演会を11月に開催します

11月23日（土・祝）
倶知安町ホテル第一会館にて

毎年「地域・職場での心の健康を考えよう」という共通テーマで開催している当法人の講演会。今年は「高齢ドライバー問題から生活環境を考える」です*1。

高齢ドライバーによる事故の報道が多い昨今、私たちは暮らしやすさと心の健康を考える視点から問題提起をしていきます。東京にあるＮＰＯ法人高齢者安全運転支援研究会の事務局長をされ、全国で講演活動をされている平塚雅之氏に講師をお願いしました。

今回も入場無料です。今号の通信ともににチラシを折り込みました。年末近くお忙しい時期かと思いますが、お誘いあわせのうえ、ぜひお越しくださいますようお願いいたします。

*1 今回の講演会は、ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会の助成を受けて実施します。

K.S.C.Juntos　北海道代表で２人出場

９月７日から８日にかけて、大阪市港区の丸善インテックスアリーナ大阪で開かれた「第３回ソーシャルフットボール全国大会」の北海道代表「リベルダージ北海道」のメンバーとして、K.S.C.Juntosの２選手が参加しました。

全国の全12チームが出場し、優勝を目指してしのぎを削りました。リベルダージ北海道は健闘したものの、グループステージ1勝1分1敗で残念ながら決勝トーナメント進出はなりませんでした。2選手もそれぞれのポジションで奮闘し、収穫と課題を感じたようです。

なお、この大会の模様を収録した公式映像がインターネットで公開されています。YouTubeで「ソーシャルフットボールチャンネル」を選ぶか、「第3回ソーシャルフットボール全国大会」と検索してみてください。

なお、彼らも出場予定の10月26日（土）に京極町体育館で開催する「第4回ソーシャルフットボールともにカップ」の結果詳報につきましては、次回のこのページでお伝えする予定です。お楽しみに。

写真は山下彰子さん（リベルダージ北海道スタッフ）が撮影しました

精神科医　土田正一郎の

その63　借りる

薬の力に頼ってはいけない。寄りかかり続けると、自分の力で立つことを忘れてしまうからだ。薬の力は、ちょっと借りるくらいにしておくのが、粋な現代人である。

借りるということは、返すことを前提にしておくのだから、大丈夫になったらいつでも返すことができるという関係を維持しておくこと。特に薬とは。

各事業報告～9月末現在

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい
契約／移行4人、B型22人
見学／0人、体験／2人

グループホーム よろこび
利用者数　21人
見学／0人、体験／0人

K.S.C.Juntos
当事者選手　13人
サポートスタッフ　18人

◆法人会員　正会員21人、賛助会員　団体6　個人77人
◆2019年度寄付金　のべ10人　80,880円
◆寄付物品　牛乳パック　メロン　菓子

編集後記

ラグビー世界大会*開幕戦は旅すがらのフェリーで観ました。船内テレビ前は人だかりで、ラグビーが一気にメジャーになった気がします。今回日本代表は人種も出身国も異なる選手たちが「ONE TEAM」を掲げて一つになりました。仕事や地域でも各々の違いを乗り越え、「ONE TEAM」をつくれたらと思います。（かわさき）

*4 この大会で初のベスト8を決めた日本、ニュージーランド相手に145点の失点で敗れた24年前と比べると隔世の感があります。

*2倶知安農業高校さんからは。合わせて16人の生徒さんがボランティアに来られ、テント設置など全面的に手伝ってもらいました。

写真で綴るわっくわくまつり

今回始まったスピードくじ
倶知安農業高校ボランティアさんと

ありか・陽だまりさんは合同出店で参加しました

ワークショップ製造部企画のよさこい体操を披露

会場には親子連れなど60人以上が詰めかけ、祭りを楽しんでいました

製造部は作業している場所を開放し、作業見学をしました

９月７日（土）に開催した「第４回わっくわくまつり」。朝まで降った雨に気をもみましたが、まつりが始まると暑いくらいの晴天となり、ご近所の方や親子連れのみなさんなどたくさんの方が訪れ、にぎわいを見せていました。

今年も協賛金やボランティアでたくさんのご協力をいただきました。そのみなさまを下表の一覧でご紹介します。本当にありがとうございました。

この日まで実行委員会で検討を重ね、よさこい体操やスピードくじなど新しい試みを企画しました。実行委員長を初めて務めたワークショップようてい利用者のＡさんは、チラシ製作や実行委員会開催で活躍しました。「実行委員長としてよりよいお祭りができて良かった」と話しています。

地域のイベントとしてすっかり定着したわっくわくまつり、来年も盛り上がる催しを企画していきます。ぜひまたお越しください。

今回協力していただいたみなさん
（50音順・敬称略）

○協賛金
株式会社クオス
株式会社マルテン髙橋
特定非営利活動法人ほのか会
ほか個人の方から2人

○ボランティア協力
倶知安農業高等学校*2
第一親和会

○出店協力
就労支援事業所ありか
人と人をつなぐ　陽だまり
地域活動支援センター夢の匠
フリーマーケットに出店されたみなさん

○物品貸与
倶知安町社会福祉協議会
倶知安町公民館
ほか個人の方１人

ありがとうございました

*3ＮＰＯ法人どりーむ・わーくす・・・農産品生産や加工を通して障がい者自立支援事業と地域活性化事業をおこなっている。

コミュニティカフェ わっくわく

ランチ価格変更のお知らせ

４年前のオープン以来、500円のワンコインで好評をいただいているランチですが、食材原価の高騰と消費税増税により10月から550円に変更しました。

なお、コーヒーなどの飲みもの、ケーキやクッキーにつきましては、当面の間価格据え置きにいたします。

今後もみなさまによりよいサービスを提供するよう努めてまいりますので、変わらぬご愛顧のほどをよろしくお願いいたします。

共同募金に今年も協力いたします

今年も１０月１日から赤い羽根共同募金が始まっています。

コミュニティカフェわっくわくのカウンターには今年も募金箱を設置しました。昨年度は4,973円の募金をいただきました。今年も年末まで受け付けます。

また10月9日には当法人も街頭募金に立ちました。ワークショップようてい利用者も街頭に立つ予定でしたが体調不良で欠席したため、今年はかわさきが代表してスーパー「北雄ラッキー倶知安店」前で呼びかけをしました。

先日発生した台風19号により各地で大きな被害が出ています。共同募金では被災された方への義援金のほか、災害ボランティアや団体へサポートする支援金も受け付けています。くわしくは共同募金のホームページをご参照ください。みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

障がい者就労支援事業所 ワークショップようてい

余市町でトマト収穫作業

8月から9月にかけて、余市町の「ＮＰＯ法人どりーむ・わーくす*3」さんの畑でトマト収穫を請け負いました。農業部の利用者を中心に、9月末まで1日につき2時間程度作業をおこないました。この作業は収穫したトマトのキログラム単位で収穫作業代を受け取り、就労支援事業会計の収入となって利用者工賃になります。外部から収入を得る作業はこれからも続けていきたいと考えています。